

PrimeDrive Release Note

iPad/iPhoneアプリ

(2013年6月10日 AppStore公開予定)

2013.6.1

営業開発本部クラウドサービス部



【iPad・iPhone機能】:バージョン1.9

(1) ファイルを続けてアップロードする機能の追加

(2) ファイル名、フォルダ名をリネームする機能の追加

(3) DocuWorks*形式のファイルに対応したアプリを起動する機能の追加

* DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

1. ファイルの連続アップロード

- ・ 設定画面の「連続アップロード」をオンにすることで、カメラロールからのファイルアップロード時に毎回ファイルを表示(ダウンロード)することなく、アップロード操作を続けることができます。
- ・ ファイルを続けてアップロードする際にダウンロード待ち時間の節約になります。

<例>

①「連続アップロード」をオンにします



※「open-in」、「メール添付」
アップロード時にも適用されます

②カメラロールからファイルをアップロードします



③アップロードが実行されます



続けてアップロード

アップロードと同時にダウンロード(キャッシュ)されません

(参考)本棚表示に切り替えると素早くプレビューできます



2. ファイル名/フォルダ名の変更

- iPad/iPhoneからサーバのファイル名/フォルダ名を変更することができます。
- 共有されているフォルダ場合は、書き込み権限が必要です。

<例>

①「編集」ボタンをタップします



②ファイルを選択して右下の「名前変更」ボタンをタップします



③新しい名前を入力します



(注)
名前を変更すると当該ファイル及び当該フォルダ配下で発行した送付キー、回収キーは無効になります。
フォルダ名の場合はキャッシュもクリアされますのでご注意ください(Webから操作した時と同様です)

3. DocuWorks連携(1/3)

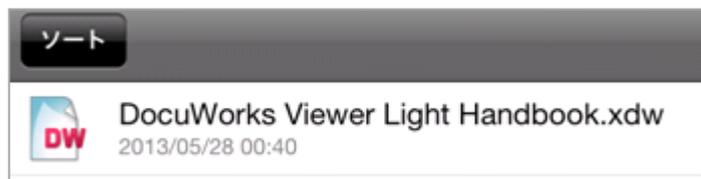
- ・ 設定画面の「DocuWorks連携」をオンにすることで、DocuWorksファイル形式(.xdw .xbd) タップ時に「DocuWorks Viewer Light」を起動し、対象ファイルをダウンロードします。
- ・ 通常のPrimeDriveでダウンロードしてからOpen inでファイルを渡す操作を1タップで実行するイメージです。

<例>

①「DocuWorks連携」をオンにします



②xdw形式のファイルをタップします



③DocuWorks Viewerを起動しPrimeDriveからファイルダウンロードが実行されます



ファイル形式に対応するアプリがない場合はエラーになります

3. DocuWorks連携(2/3)

- DocuWorks連携では、1回/1日限り有効な送付キーを使ってファイルをダウンロードしますので、送付キー一覧とログに操作の記録が残ります。

<送付キー一覧画面の例>

SoftBank

ダウンロード PDF取得 閲覧 無効化 申請取下 削除 URL表示 アクセス履歴

送付一覧

名前

DocuWorks Viewer Light Handbook.xdw

・DocuWorks連携実行時に送付キーが自動生成され、DocuWorks Viewerでダウンロードされることで無効になりますので、残す必要のない送付キーは適宜一覧から削除してください。

<ログの例(管理者画面)>

実行日: 2013/05/31 16:39

コーポレートID: [REDACTED]

ユーザID: [REDACTED]

操作: 送付キー発行

結果: 成功

クライアント: ipad

接続元IP: [REDACTED]

実行日: 2013/05/31 16:39

コーポレートID: [REDACTED]

ユーザID: UgW_bf5ioPrNmnDMDT9Izg

操作: 送付キーダウンロード

結果: 成功

クライアント: ipad

接続元IP: [REDACTED]

・ログには「送付キー発行」と「送付キーダウンロード」として記録されます。

3. DocuWorks連携(3/3)

- ・コーポレート管理者画面のポリシー設定が以下のいずれかに該当する場合、DocuWorks連携はできません。

【DocuWorks連携不可となるポリシー設定値】

ポリシー設定項目	設定値
送付キー発行	許可しない
送付キー発行/パスワード	強制する
送付キー発行/名前記入	強制する
「次の方法で開く」の利用(iPad/iPhone)	許可しない
ワークフローの利用	強制する
モバイル端末キャッシュ保存期間	0日

通常の操作でご利用になる場合は、
DocuWorks連携をオフにしておいて下さい

